

令和8年度（2026年度）事業計画書

法人の名称：NPO法人ロングタイムレコーダーズ
（令和8年4月1日から令和9年3月31日まで）

1. 事業活動方針

令和8年度は、ミッション「次世代へ音記録を」のもと、これまで培ってきた音楽・音響の専門性を、より広く地域社会、特に福祉現場へと展開していく年と位置づける。以下の4本の柱で事業を進める。

- ・高齢者・福祉施設等を対象とする音と記憶の回想・交流プログラムの実施および記録機材整備事業（新規・主要事業）
- ・代表理事 椎野伸一によるピアノコンサートの開催（演奏活動の継続・発展）
- ・座間市民活動サポートセンター依頼によるコンサート開催（地域連携事業）
- ・既存の音記録・SNS発信事業の継続（基盤事業）

2. 事業内容

特定非営利活動に係る事業

（1）高齢者・福祉施設等を対象とする音と記憶の回想・交流プログラムの実施および記録機材整備事業（新規）

高齢者施設・福祉施設の現場では、音楽および身近な生活音の活用が回想・交流の手法として有効であることが指摘されている。当法人は音楽・録音・映像・編集・保存・公開の専門性を有し、養護老人ホーム白寿荘、児童養護施設等での訪問演奏実績を重ねてきた。さらにNPO法人回想法プランニング（代表：高島浩子氏）と協働し、「暮らしの音」を回想法の道具として活用するための作品集を2026年2月に制作・公開している。本事業ではこれらの実績と協働関係を基盤として、神奈川県内の高齢者・福祉施設等における音楽プログラムを継続的に実施する。

項目	内容
実施期間	2026年8月～2027年2月
実施施設	養護老人ホーム白寿荘（社会福祉法人神奈川県匡済会）／宮ノ前テラス（NPO法人宮ノマエストロ運営）／横浜市滝頭地域ケアプラザ（社会福祉法人竹生会）
実施回数	3回程度（各施設1回を基本）
担当演者	椎野伸一（ピアノ・当法人代表理事）／松井晴美（ソプラノ・ピアノ）・居城勝彦（バリトン・ピアノ）／TOME FUYA（ギター・カホン）
プログラム内容	クラシック音楽・唱歌・童謡等の演奏、生活音鑑賞（回想法プランニングとの協働音源活用）、参加者との交流、録音・記録
機材整備	32bit float対応フィールドレコーダー、防塵耐衝撃カメラ、モニターヘッドホン、運搬用ハードケース等
協働組織	NPO法人回想法プランニング（代表：高島浩子氏）
従事者人数	1～6人
受益対象者	延べ100名以上（高齢者・施設利用者）
支出見込額	機材整備費・業務委託費・旅費交通費等

（2）椎野伸一ピアノコンサート（ベヒシュタイン・セントラム）

項目	内容
事業内容	代表理事 椎野伸一（東京学芸大学名誉教授）によるピアノ有料公演の開催
実施日	2026年8月27日
場所	ベヒシュタイン・セントラム（東京都内）

実施形態	有料公演
従事者人数	1～4人
受益対象者	一般聴衆
支出見込額	会場費・印刷費・通信費・会議費等が発生可能性

(3) 母子向けコンサート（ハーモニーホール座間）

項目	内容
事業内容	座間市民活動サポートセンター依頼による、お母さんと子どもを対象とした演奏会
実施日	2027年2月20日
場所	ハーモニーホール座間 小ホール（客席400席、ピアノ完備）
依頼元	座間市民活動サポートセンター
対象	普段音楽を聴く機会を得にくいお母さんと子どもたち、など
当法人の役割	演奏者の派遣および音響・記録面でのサポート。
従事者人数	4人程度
受益対象者	来場者（オフライン）
支出見込額	旅費交通費・消耗品費等

(4) 基盤事業：音記録・SNS発信事業の継続

- 当法人のミッション「次世代へ音記録を」のもと、以下の基盤事業を継続する。
- ・公式note (https://note.com/longtime_jp) における正会員・演奏家等へのインタビュー記事等の発信
 - ・公式WEBサイト (<https://longtime.jp>) および公式YouTube、Bandcamp、X、Facebook等を通じた活動記録の継続公開
 - ・音記録のアーカイブ整備

3. 予算の考え方

本年度予算は、経常収益約123万5千円、経常費用約119万6千円の規模を想定する。当期経常増減額は約4万円の黒字を見込む。

【主な収益見込み】

- ・正会員受取会費
- ・受取寄附金
- ・受取民間助成金（公益財団法人日揮社会福祉財団 2026年度社会福祉助成金 申請中・採択時）
- ・事業収益
（椎野伸一ピアノコンサートの有料公演収益、座間市民活動サポートセンター依頼料）

【主な費用見込み】

- ・事業費：機材整備費（本助成事業による）、業務委託費（演者謝金等）、旅費交通費、消耗品費・通信費・印刷費等
- ・管理費：事務運営費、通信費、支払手数料等

4. 個人情報・肖像権・著作権への配慮

すべての事業において、関係者の同意を得た範囲で活動の記録および公開を行う。特に高齢者・福祉施設等での録音・録画については、施設および本人・家族の同意取得を徹底し、公開範囲についても適切に判断する。

以上